

活動レポート

北方海域技術研究会

『平成21年度 第1回講演会』の開催

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2009年(平成21年)7月10日に平成21年度 第1回講演会を開催しましたので報告致します。

2. 『平成21年度 第1回講演会』

第1回講演会は、札幌市中央区の「かでの2.7、730研修室」で開催しました。参加者は48名でした。(写真-1)



写真-1 講演会状況

また、その後の意見交換会は、KKRホテル札幌で行い、24名の方が参加されました。

開会にあたり北方海域技術研究会の大塚代表が開会の挨拶を行いました。(写真-2)



写真-2 開会の挨拶をする大塚代表

続いて、お二人の講演者により海洋に関わる演題

でご講演いただきました。講演者及び講演内容は、以下のとおりです。

■講演-1

はじめに、『我が国周辺の海洋調査について～大陸棚や排他的経済水域の調査を中心に～』と題して、海上保安庁海洋情報部 技術・国際課課長 春日茂氏にご講演いただきました。(写真-3)



写真-3 講演される春日氏

まず、海上保安庁の海洋調査がどのような目的、調査項目で行われているのか等を詳しくご説明いただきました。特に、海洋法条約における大陸棚と排他的経済水域との関係、海底地形の3Dの動画による可視化等(図-1参照)は大変興味あるものでした。

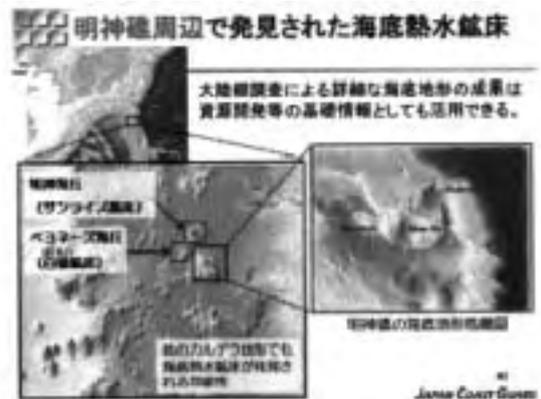


図-1 3Dによる動画

■講演-2

次に、内閣官房総合海洋政策本部事務局 参事官 眞先 正人氏より「海洋産業の活動状況に関する調査について」と題してご講演いただきました。

(写真-4)



写真-4 講演される眞先氏

海洋基本法第5条（海洋産業の健全な発展）に関して、海洋の開発、利用、保全等を担う海洋産業についての活動状況に関する調査概要の説明をしていただきました。まず、海洋産業は関連産業が極めて多様化していることから、分類すると海洋空間活動型、素材・サービス等供給型、海洋資源活用型の3つに類型化できるところから始まり、その後、規模の算定、諸外国との比較分析、今後の検討課題についてお話いただきました。(写真-5)



写真-5 講演会状況

今回の海洋産業の活動状況に関する調査検討会には、当研究会の相談役である公立はこだて未来大学の長野章教授もメンバーとして参加されていること

とのことで、最後に「日本の海洋産業と離島の経済的評価」と題した資料の説明をいただき、我が国の数多くある離島が海洋産業にどのように位置づけられているのかが、離島関係者の関心事であるなど問題提起していただきました。(写真-6)

最後に、長野教授による閉会のご挨拶で第1回講演会を無事終了いたしました。(写真-7)



写真-6 説明を行う長野教授



写真-7 閉会の挨拶をする長野教授

3. おわりに

以上、平成21年度の第1回講演会の報告を致しました。海洋に関わる大きなテーマでお二人の講演者にご講演いただき、大変有意義な時間を過ごさせていただいたことを、この場をお借りして、御礼申し上げます

また、意見交換会では活発な情報交換が行われました。今後も講演会を予定しております。会員の方は勿論、会員以外の方も歓迎致しますので是非御参加いただきますようお願い申し上げます。

(文責：北方海域技術研究会幹事 藤井 淳夫)